



中嶋 秀一
(自民公明クラブ)

宇樽部棧橋の不法係留船 撤去に向けた進捗状況は

県に要請しているが進展はない

問 宇樽部棧橋に不法係留されている遊覧船の撤去に向けた進捗状況は。

答 毎年、棧橋の管理者である県に放置遊覧船を撤去するよう要請を続けており、県からは法的措置も含めて検討していきたいとの回答を得ていますが、遊覧船自体に抵当権が設定されていること等の理由から、具体的な進展は図られていないと伺っています。市としては、放置遊覧船の撤去は棧橋の管理者である県が主体的に行うものと認識しており、引き続き県に撤去を要請していきたいと考えています。

問 期日前投票の際の当日投票できない理由の記入をなくしては。

答 これまでは公職選挙法施行規則で様式を定められていたことから、記入する必要がありましたが、本年3月1日に政令等が改正され、投票できない理由の記入が不要となりました。

問 現在の期日前投票所に加えて、大学等の多くの人が集まる場所に設けては。

答 有権者の利便性向上につながるものと認識していますが、設置に要する経費等を考慮すると、これ以上の増設は難しいと考えています。

問 AIを活用して利用者からのリクエストに合わせてバスの運行経路とダイヤを最適化して運行する呼出型最適経路バスを導入しては。

答 メリットがある一方で、解決すべき課題もあることから、当該バスを含め他の自治体の交通サービスの事例を調査研究し、効果的かつ効率的な手法を取り入れることで、市民にとって利用しやすく、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組んでいきたいと考えています。



櫻田 百合子
(黎明親和会)

がん患者への支援の充実を

アピランスケアへの助成を検討

問 令和2年の県の統計で当市の死因の1位はがんである。予防対策の充実や、がん患者に寄り添う支援が必要であるが、就労支援の現状は。

答 中央病院内のがん相談支援センターで仕事と治療の両立支援を行っています。また離職した患者が希望の職種等に再就職できるようハローワークとの連携を行うケースもあり、今後進めていきます。

問 精神面や身体面等の社会生活上の不安を和らげ、安心して暮らしていけるよう、アピランス（外見）ケアとして医療用ウィッグや胸部補正具の購入助成制度を考えては。

答 患者の経済的負担の軽減と社会参加の推進につながるよう助成の対象や用具、金額等の支援内容について今後検討を進めていきます。

問 改訂された小中学校学習指導要領で、新たに明記されたがん教育の当市の指導状況は。

答 小学校6学年、中学校2学年の保健体育の中でがん予防などの指導を、市立小中学校全てで実施しています。今後も補助教材を活用し、道徳や特別活動と関連付けてがん教育の充実に努めていきます。

問 第80回国民スポーツ大会で相撲競技が行われる相撲場整備の進捗状況は。

答 現時点で本体工事は令和5、6年度で完了し令和7年度にリハーサル大会を実施する予定で、令和8年開催に向けて計画的に進めています。進捗状況はホームページ等で発信します。

問 今年8月に行われる全国高校・大学相撲十和田大会はどのように開催する予定なのか。

答 相撲場の工事開始により使用できなくなるため、屋内グラウンドを大会会場として想定しています。